

第 22 回 経営協議会議事録

日 時 平成 20 年 1 月 17 日(木) 10:00～12:00
場 所 本部棟大会議室
出席者 長澤学長，伊藤理事，棚橋理事，湯口事務局長，西村獣医学科長，
土谷畜産科学科長，小澤委員，垣内委員，金川委員，豊田委員，渡辺委員
欠席者 砂川委員
陪席者 牧野理事，竹川監事，本江学長特任補佐，前田学長特任補佐，
宮本学長特任補佐

議事に先立ち，議長から，理事 3 名の紹介があり，また，各構成員から，自己紹介があった。

議 題

1) 帯広畜産大学職員給与規程等の一部改正について

議長から発議のあと，伊藤理事から，10 月開催の経営協議会及び役員会において国家公務員の給与改定に準拠し，国立大学法人帯広畜産大学職員給与規程の一部改正を行う方針について承認されており，今回は当該規程及び職員退職手当規程の一部改正について諮る旨説明があった。

次に，総務課長から，資料 1-1～1-4 に基づき，改正内容について説明があり，改正規定案については，資料のとおり過半数代表者の意見を聴いている旨発言があった。

審議の結果，原案どおり承認した。

2) 目的積立金使用方針について

報告事項 2) 平成 20 年度運営費交付金等の予算内示について

議長から，議題 2 は報告事項 2 と関連するため併せて説明したい旨発言があり，発議のあと，財務課長から，資料 6 に基づき，平成 20 年度運営費交付金等の予算内示額の詳細について報告があった。

次に，伊藤理事から，資料 2 に基づき，目的積立金使用方針の策定について説明があった。

審議において，構成員から以下のような発言があった。

- ・ 目的積立金の使用に関するプラン及びプロセスを示されたい。
- ・ 収益事業のみならず，教育・研究の質の向上についても重要であると思うので，全体のバランスをみて検討されたい。
- ・ 環境問題やエネルギー問題等について，先進的に取り組めることはないか。全国的に話し合う場をつくる等検討してはどうか。

- ・ 本学の立地を生かし産業動物の全国共同利用施設のようなものを作ってはどうか。

審議の結果、使用方針については原案どおり承認し、目的積立金の使途については意見を反映できるよう今後検討することとした。

3) 平成 19 年度追加予算配分について

議長から発議のあと、伊藤理事から、追加予算配分について諮る旨説明があった。次に、財務課長から、資料 3 に基づき、予算の配分額等詳細について説明があった。審議の結果、原案どおり承認した。

4) 平成 20 年度予算編成基本方針について

議長から発議のあと、伊藤理事から、本学予算管理細則における規定に基づき、今回予算編成基本方針を提案し、今後、予算編成方針において具体的な内容を示し、その後予算編成を行う旨発言があった。

次に財務課長から、資料 4 に基づき平成 20 年度予算編成基本方針について説明があった。審議において、構成員から以下のような発言があった。

- ・ 家畜病院や農場に設備投資をするのであれば収入予算として考慮されてはどうか。
- ・ 人件費削減によるスタッフ不足を補うため、他大学等との連携を自由にすることができるシステムが必要なのではないか。
- ・ 大学をどのように経営していくかという学長方針をもとに、予算編成をしていかないと理念がはいらず、数値中心のものになってしまうのではないか。学内の意見を上手く反映するためには、理念を文章で示していくことが大事なのではないか。

審議の結果、収入予算関係の考慮すべき点に、自己収入の増加について記述を加えることとし、承認した。

報告事項

1) 教員の選考について

牧野理事から、資料 5 に基づき、前回の経営協議会以降に教育研究評議会において承認された、4 件の教員人事について報告があった。

3) 中期目標・計画のうち重要戦略課題とその検討状況について

伊藤理事から、資料 7 に基づき、前回の経営協議会以降の中期目標・計画のうち重要戦略課題の検討状況について、報告があった。

議長から、次回の第 23 回経営協議会は、3 月 12 日(水)10 時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨の発言があった。

以 上